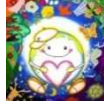


# 地球環境子ども村だより

No.59・60合併号

令和5年 1月 5日(木) 発行



明けましておめでとうございます！旧年中はいろいろお世話になりましてありがとうございました。本年も地球環境子ども村をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年も、新型コロナウイルスの影響を受けた一年でしたが、できる限りの予防を心掛け、野外の活動を楽しんでいただくよう努めてきました。亀岡生き物大学の3年ぶりの開催をはじめ、新しく「初めての草木染め」という講座を行わせていただきました。令和5年もわくわく勉強しながら楽しめる催しを企画していきたいと思えます。どうぞ期待ください！さて新年の子ども村だよりは、夏休みからの行事を一口气にご報告、特に今回は合併号、楽しさ2倍でお届けします！（=^・^=）

## ◎これまでの行事報告(7月～10月)

### 亀岡生き物大学「昆虫教室」



7月23日(土) 午前10時～正午 参加者:42人

講師:仲田 丞治さん

(NPO 法人かめおか人と自然のネットワーク)

昆虫教室は、仲田さんの昆虫クイズから始まりました。クワガタや亀岡の昆虫について、少し難しい問題にも子どもたちは積極的に手を挙げて答えます。それから、実際にクワガタやカブトムシなどに触ってみました。初めてなのか、恐る恐る手を近づけて触ってみる子、簡単にひょいと捕まえる子もいます。

後半は野外観察に出かけました。事前に段ボールをクヌギに巻き付けたトラップを、順番に開けていきました。4個目ではじめてノコギリクワガタが入っていました。そのほかセミの羽化にも立ち会って、「すごい！」と、子どもたちはしっかり観察していました。



ほら、ノコギリクワガタだよ！

セミの羽化



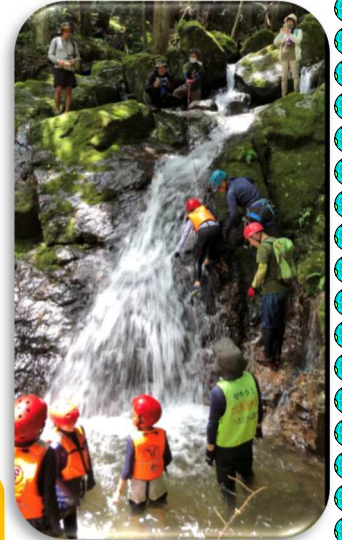
### 亀岡生き物大学 特別講座「沢登り教室」

7月28日(木) 午前10時～正午 参加者:17人

講師: NPO 法人かめおか人と自然のネットワーク  
京都府山岳連盟の皆さま

亀岡市東本梅町の音羽川の渓谷を登る冒険です。ドキドキワクワクしている子ども達はライフジャケットとヘルメットを着用し、いざ出発！つるつる滑る岩がたくさんあり、足元に注意しながら登り進めます。大きくゴツゴツした岩や身長の何倍も高い岩など、悪戦苦闘しながらも笑顔で楽しみながら登り進めました。最後は5メートル程の滝でロープを使って自分の力で登り切りまし

た。最後まで登り切った子どもたちは「よっしゃー！」と喜び、歓声と拍手が谷に響きました。



がんばれ～！  
あと少し！

### 亀岡生き物大学 特別講座 「植物標本を作ろう！」

1回目 7月30日(土) 午前10時～正午 参加者:20人

2回目 8月20日(土) 午前10時～正午 参加者:17人

講師:井尻 俊之さん(亀岡植物誌研究会)

1回目は、植物採集です。朝から厳しい日差しが照りつける中、元気一杯の子どもたちがたくさん参加してくれました。畔や道端に生える植物や生き物を興味津々な様子で見たり触ったりして採集しました。教室に戻って各々が標本にしたい植物を手にとって新聞紙に挟み標本作りがスタートしました。子ども達は先生からの説明や図鑑を頼りに植物の種類や名前を調べ、花の色などをメモします。それから新聞紙を段ボールでまとめて持ち帰り、3週間かけて乾燥させます。

2回目は、乾燥させた植物を台紙に貼り、ラベルを付けます。採集日、場所、採集者、植物の名前(和名)、学名、など詳しく記し

ます。メモを参考にして  
図鑑で探し、先生に聞いて  
確認しました。基本、10  
種類の植物標本を作りま  
すが、採集した分全部作  
ろうと頑張る子もいまし  
た。完成した植物標本に、  
「100年は持ちますよ。」  
と先生は太鼓判を押して  
くれました。



上手に押せてますね！

### 亀岡生き物大学 特別講座「夏の星座を観よう！」

8月2日(火)午後7時半～9時 参加者:30人

講師:植木 永子(環境学習指導員)

まず、夏の星座について学びます。夏の  
大三角と様々な星座の講義を終えた子ど  
も達は、星楽館という天文台へ向かい星空  
の観察です。雲が少し出てきたため、観察出来るか不安で  
したが、三日月とクレーターをしっかりと観察でき、子ども達  
は「すごい!」「きれい!」と終始興奮していました。途中流  
れ星も見ることができ、子ども達は常に星空を眺めながら  
講義で学んだ星座を探し  
ました。保護者の方も子  
ども達と一緒に星空を  
眺めて楽しそうでした。  
学んだことをきっかけに、  
宇宙に興味をもって  
くれれば嬉しいです。



クレーターだ!

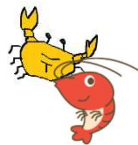
共催団体:諸星塾

### 亀岡生き物大学 特別講座 「チリメンモンスターを探せ！」

8月5日(金) 午前10時～正午 参加者:16人

講師:植木 永子(環境学習指導員)

大阪湾で採れたチリメンジャコの中から、ほかの生き物を探  
す「チリメンモンスターを探せ!」川から海的环境についても  
学べるプログラムです。さて、参加者は何種類見つけるでし  
ょう?子どもたちは、バットの中からチリメンジャコを取り、皿  
に広げて探します。「これ何ですか?」「タコですか?」色々な  
チリモン(※)を探して次々にゲットしていきました。



それから、大きな紙皿に張り付けてオリジナルの標本を作  
ります。タツノオトシゴなどのレア物をゲットした子もいまし  
た。全部で22種類  
のチリモンが見つかり  
ました。たくさん  
の生き物が棲む海の  
環境や、生物多様性  
についても学びまし  
た。

※チリメンモン  
スターの略称



ポンドで張り付けます!

### 亀岡生き物大学 特別講座 「消しゴムはんこ教室」



8月9日(火) 午前10時～正午 参加者:25人

講師:いとう みきさん(消しゴムはんこ作家)

亀岡市出身のいとうさんは、関東で活動されています。3  
年振りの帰省に合わせて、講師をお願いいたしました。  
まず、三角と半円のパーツを作り、組み合わせてアイスクリーム  
を作りました。それから、自分の作りたいはんこを彫ったり、先  
生の作ったはんこの好きなものを選び、はがきに押しつけて暑中見  
舞いを作ったりと、自由に消しゴムはんこを楽しみました。

はんこを押す紙もフェアトレー  
ドの「バナナペーパー」を使い、バ  
ナナと環境のお話もしていただけ  
ました。「バナナから紙が作れるん  
だ!」と参加者も驚いていました。



どんなインクを付け  
ようかな?

### 亀岡生き物大学 特別講座 「望遠鏡を作ろう」



8月12日(金) 午前10時～正午 参加者:16人

講師:植木 永子(環境学習指導員)

子ども村特製の望遠鏡は、植木考案の牛乳パックとヨーグ  
ルトパックを組み合わせて作ります。初めに、望遠鏡の仕組み  
や歴史を学んだ後、望遠鏡作りがスタート。紙パックを切った  
り、レンズを固定したり、保護者に協力してもらいながら作っ  
ていきます。終始真剣な表情で取り組む子どもたち、完成し  
た望遠鏡をのぞいてみると、「あれ、逆さにみえる?」と、不思議  
そうな顔になりましたが、この望遠鏡の特徴です。「夏休み

の工作が出来た！」と喜びの声も。これで、月を観察してみてくださいね！

オー？  
逆さに見える！



### 亀岡生き物大学「森林教室」

9月3日(土) 午前10時～正午 参加者:40人

講師: 京都府森林インストラクター会の皆さま

まず、森林の働きを教えて頂き、間伐体験に入りました。3班に分かれた子どもたちは、ヘルメットに軍手、ノコギリを持って各リーダーに続いて森に入りました。班ごとに間伐するヒノキを決め、リーダーの指導で根元から30cm付近にノコギリを入れました。最初は、なかなかノコギリは動いてくれず、リーダーの手を借りて、やっとギコギコと動き出しました。疲れたら交代です。子どもたちは汗びっしょりになりながら、ノコギリを引き続けました。とうとう木が倒れ、引っかかった木はロープをかけて、みんなで引き倒しました。それから邪魔な枝をみんなで切り、3m位の丸太にして運び出しました。

最後はクラフト作り、長さ10cmくらいの鉛筆立てを作ります。自分の分を切り取るため、頑張ってノコギリを引きます。「切れたー！」「あー、曲がった！」ドリルで穴をあけてもらい、周りの樹皮を剥いで、「ツルツルできれい！」「楽しかった！」子どもたちは、出来た鉛筆立てを笑顔で見せてくれました。

重いよー！  
がんばれ～！



### 亀岡生き物大学 特別講座 「きのこ教室」

9月10日(土) 午前10時～正午 参加者:27人

講師: 佐野 修治さん(京都御苑きのこ会)

先生は様々なキノコの写真を紹介し、「きのこは菌類、動物に近い生き物です」とお話されました。参加者の皆様も熱心にメ



モやスケッチをしています。後半は、実際に山できのこの観察です。森の入口に差し掛かると「第一きのこ発見」という先生の声で解説が始まりました。初めに観察したのはアラゲカワラタケです。枯れたサクラに群生している姿が確認できました。

林道を進みながら、子ども達も「見つけました！」や「おっいきのこあった」などたくさん発見をし、先生から「皆さん、きのこ目になっていきますね」とお褒めをいただきました。最後に先生から幸運のきのこ(マンネンタケ)の標本をいただき、1本ずつ持ち帰っていただきました。



きのこは植物の花と同じ働きをします。

### 亀岡生き物大学「草花教室」



10月8日(土) 午前10時～正午 参加者:32人

講師: 井尻 俊之さん(亀岡植物誌研究会)

植木 永子(環境学習指導員)

今回は、亀山城址にある大本みろく会館に集合し、花明山植物園と城跡の見学を行いました。植物園の解説は亀岡植物誌研究会の井尻俊之さん、城跡の解説は地球環境子ども村の植木が務めました。参加者は2班に分かれ、交互に観察しました。

花明山植物園では、マップに書かれたヒントを頼りに草花を探していただきました。フジバカマやチャノキなどの名前の由来や生態について学びつつ、観察を楽しみました。その他にもムクロジの実を水に入れ泡立つ様子を観察した子ども達は「すごい！」と驚いた様子でした。城跡見学では内堀跡の石垣にある大名刻印を探したり、亀山城の歴史を学ぶクイズを行いました。身近な場所ほど新たな発見や学びがあったようです。亀岡の歴史の一端に触れる機会となりました。草花教室では、宗教法人大本の皆様にもいろいろご協力をいただき、ありがとうございました。



昔は石鹼の代わりにムクロジを使いました。

亀岡生き物大学 特別講座  
「オリオン座流星群をみよう！」



10月21日(金) 午後7時～8時半 参加者:30人

講師:植木 永子(環境学習指導員)

日中はすっきりとした秋晴れでしたが、徐々に雲が増えてきたため、最初に夜空の観察をしました。星楽館と諸星塾の皆さま(※)の望遠鏡で、雲の切れ間から木星や土星の姿は観察する事ができました。しかし数十分すると空も雲で隠れてしまい流れ星は見えませんでした。

流れ星が見えず残念でしたが、講座では流れ星についてのクイズを親子で楽しんでいただきました。お父さんやお母さんに負けないように頑張って背伸びしたり、立ち上がって手を挙げる子どもたちもいて、積極的にクイズに参加してくれました。今回は曇って残念でしたが、これからも地球環境子ども村では星空の観望会を開催しますので、機会があればご参加ください。



実習室で流れ星のお勉強♪

※共催団体:諸星塾

亀岡生き物大学 特別講座  
「初めての草木染め」



10月29日(土) 午前10時～正午 参加者:21人

講師:竹内 美由紀さん(兵庫県立ささやまの森公園)

まず、絞りの作業です。ビー玉と輪ゴムを使い綿のハンカチに、模様を付けていきます。どこに模様を付けようか悩む子、夢中で輪ゴムを沢山縛る子、とそれぞれ納得いくまで作業しました。外では、杉の葉の染液を温めて、水で濡らしたハンカチを、みんな一斉に染液に入れました。「ワインみたい！」と声上がるくらいとても濃い綺麗な赤色の液に白いハンカチを沈めました。上から押さえて、染めムラが出来ないようにじっくりかき混ぜます。次はミョウバンを使ったアルミ媒染です。赤い色がパッと発色しました。

水洗いして、新しい染液に入れ、最後に輪ゴム外して水洗いをすると、日に透けた赤色が鮮やかなハンカチが出来上がりました。

た。「杉でこんなに鮮やかな赤色が出たのは初めてです！」と、先生も驚いていらっしゃいました。

風になびく、幸せのハンカチ



子ども村昆虫記



夏の二大昆虫といえば、カブトムシとクワガタムシが浮かびます。両者には色々な違いが…。カブトムシは1年のサイクルで卵から成虫までを生きます。(現在は幼虫)クワガタは種類によって数年生きるものもいて、特にオオクワガタは長生きで3～4年生きると言われています。子ども村での最年長クワガタは、菌糸瓶に入った幼虫をいただいた2018年生まれの子で4歳です。2019年夏、3頭が成虫(♂2, ♀1)となり、2020年ペアリングに挑戦、2021年2頭が成虫(♂1, ♀1)に、その間、オオクワガタを寄付してくれる方が出現、2022年、そのうちの♂と子ども村生まれの♀をペアリング、今回は10頭くらい孵化しました。毎年、昆虫教室や、来村された園児さんたちに、生きたクワガタを見てもらい、とても喜ばれています。1頭ずつだとストレスが少なく、餌のゼリーをもらえる環境で長生きをしているのかも？今年も元気に冬越し中です。

地球環境子ども村では、教育機関や団体などの来村を受け入れています。野外活動、山登り、園外保育などにご活用ください。詳しくは、下記子ども村までお問い合わせください。

さて、地球環境子ども村では1月から3月の特別講座を行います。子ども村の行事や催しについては、広報かめおかや、地球環境子ども村のHP、フェイスブック(右 QR コード)、インスタグラムをご参照ください。電話でのお問い合わせは、平日の午前9時から午後5時までお願いいたします。

(文責:植木永子)



地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL:0771-26-6100 Fax:0771-26-5002

Email: kodomomura@city.kameoka.lg.jp